年　　組　　　番　　名前

**教材３―(１)　解言葉**

一　次の文の主語としてふさわしいものを①から③までの中から一

つ選んで，その番号をかきましょう。

　　①　　②　　③

　　庭に　池が　あります。

②

　　　①　　　②　　　　③

　　森さんが　今日の　日直です。。

①

　　　①　　　②　　　③

　　かわいい　ひなが　生まれました。

②

二　次の文で、　　　の言葉をくわしく表している言葉に＊＊　　　を引きましょう。

　　くじらが　ゆうゆうと　泳いでいる。

　　あかちゃんが　にこにこ　わらっている。

　　小鳥が　ピーピーと　鳴いている。

　　森の中は　しーんとして　しずかだった。

　　白い　ねこが　歩いています。

　　かわいい　赤ちゃんが、よちよち　歩いています。

　　　　　　　　年　　組　　　番　　名前

**教材３―（２）　　言葉**

一　次の文の「主語」「」を（れい）のように書き入れましょ

う。

　　　　　　　**主語　　　　　　　　　　　　　　　　述語**

（れい）　わたしは、台所で おじいちゃんに 手紙を 書きました。

　①　三年とうげと よばれる とうげが ありました。

②　冬が、きつねの 親子の 住んでいる 森にも やってきました。

③　先生は、みんなに 手話で 気持ちを 伝えました。

二　＊＊＊をくわしく表している言葉を　　の中から選んで、（　）に入れましょう。

①（　　　　）チューリップの花がさきました。

②（　**軽い**　）荷物を運びました

③だれもいない（　**さびしい**　）教室になりました。

④朝の林に（　**さわやかな**　）風がふいている。

⑤みんなで（　**楽しい**　）ゲームをする。

|  |
| --- |
| **さびしい　　赤い　　さわやかな****楽しい　　軽い** |

　　　　　　　　年　　組　　　番　　名前

**教材３―（３）　解言葉**

一　文の中で、いろいろに形をかえる言葉があります。

　国語じてんでは、ふつう、左の　　でかこんだ形が、見出し語

になっています。①～③の見出し語を　　で囲みましょう。

③

しずかだろう

しずかだった

しずかに

しずか

しずかな

しずかならば

②

泳がない

泳ぎます

泳ぎたい

泳げば

泳ぐ

泳ごう

①

青かろう

青かった

青くなる

青い

青い花

青ければ

書かない

書きます

書く

書くもの

書けば

書こう

二　次の言葉を、（れい）のような言い切りの形にしましょう。

（れい）走った

**走る**

①　食べよう

②　うれしかった

③　きれいだった

三　次の言葉を国語じてんに出ているじゅんにならべましょう。

すし　　すいか　　すす　　すず　　進む

　　　　　　　　年　　組　　　番　　名前

**教材３―（４）　　言葉**

|  |
| --- |
| 「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」〈れい〉　　　　　　　　　　　　　　「動きを表す言葉」　「様子を表す言葉」　「物や事を表す言葉」　　　　　　　　投げる　　　　　速い　　　　　野球　　　　　　　　走る　　　　　　強い　　　　　ボール　　　　　　　　取る　　　　　　楽しい　　　　グローブ　　　　　　　　打つ　　　　　　うれしい　　　練習 |

一　次の文の　　には、どんな言葉が当てはまるでしょうか。下の

　　　　　から選びましょう。そして、その言葉が、**「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」**のどれかを考え、（　）

　に**ア**から**ウ**の記号を書きましょう。

　①　問題答用紙に名前を　　　　　。・（**ア**）

②　今日は気温が　　　　　。・・・・（**イ**）

③　鳥が　　　　　　をとぶ。・・・・（**ウ**）

④　　　　　　花がさく。・・・・・（**イ**）

**買う**

**大空**

**高い**

**書く**

**野球**

**日本地図**

**美しい**

|  |
| --- |
| **ア**「動きを表す言葉」**イ**「様子を表す言葉」**ウ**「物や事を表す言葉」 |

⑤　　　　　　のしあいで負ける。・（**ウ**）

⑥　お店で本を　　　　　　。・・・（**ア**）

⑦　　　　　　で地名を調べる。・・（**ウ**）

　　　　　　　　年　　組　　　番　　名前

**教材３―（５）　言葉**

|  |
| --- |
| 文には、決まった言い方をする言葉があります。〈れい〉▼おそらく、・・・・だろう。　　　　▼なぜ、・・・・・なのだろう（なのか）。　　　　▼きっと、・・・・・ちがいない。　　　　▼まるで、・・・・・ようだ（みたいだ）。 |

一　次の文の　　　　 線の言葉に気をつけて（　　）の中に入る言葉を　　　　の中からえらびましょう。

①　どうして、おなかはへるの（　**だろう**　）。

②　あのビルの形は、まるで半月の（　**ようだ**　）。

③　まさか、わたしがゆう勝するとは思っても（　**いっ　た**　）。

④　たとえ、遠くはなれて（　**いても**　）、また会えるだろう。

⑤　もし、雨がふった（　**ならば**　）、遠足は中止です。

⑥　きっと、あの消しゴムは山田さんの物に（　**ちがいない**　）。

**いなかった　　ならば　　　ようだ**

**いても　　　　だろう　　　ちがいない**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ねこにこばん | ほねがおれる | 善(ぜん)は急げ | さるも木から落ちる | 馬が合う | ねこのひたい |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| 名人やと呼ばれるような者であっても、しっぱいすることがあるということ。 | かちの分からない人にかちのあるものを与えても何の役にも立たないことのたとえ。 | たいへんせまい場所のたとえ。 | 苦ろうする。 | よいことは、あれこれとなやむより、すぐに行うほうがよい。 | 気が合うこと。 |

　　　　　　　　年　　組　　　番　　名前

**教材３―（６）　　言語**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ねこにこばん | ほねがおれる | 善(ぜん)は急げ | さるも木から落ちる | 馬が合う | ねこのひたい |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| 名人やと呼ばれるような者であっても、しっぱいすることがあるということ。 | かちの分からない人にかちのあるものを与えても何の役にも立たないことのたとえ。 | たいへんせまい場所のたとえ。 | 苦ろうする。 | よいことは、あれこれとなやむより、すぐに行うほうがよい。 | 気が合うこと。 |

一　次の言葉の意味にあうものを 　　　でつなぎましょう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　　　「ねこの手もかりたい」「道草を食う」などのように、　　　　　二つ以上の言葉が結びついて、もとの言葉の意味とはちがう新しい意味を表す言い方。 | 　　「五十歩百歩」など。ことわざににた短い言葉。中国につたわる古い出来事や物語がもとになっている。 | 　ことわざ　「急がば回れ」「わらうには福来たる」など、生きていく上でのちえや教えを、短い言葉や言い回しで表したもの。 |

　　　　　　　　年　　組　　　番　　名前

**教材３―（７）　　言葉**

一　｛　　｝の言葉の正しい方を　　　　でかこみましょう。

①　入り口に、くつがある。　　　　　　くつはわたしのです。

**それ**

**その**

②　遠くに見える　　　　　　　山が大山です。

**あの**

**この**

**の**

③　暑いから　　　　　　　水とうを持って行きなさい。

**どの**

**この**

**の**

④　きのう、あなたが持っていた　　　　　　をかしてください。

**あれ**

**それ**

**の**

⑤　箱の中から　　　　　　　でもほしい物を取りなさい。

**どれ**

**それ**

**の**

⑥　かさが見つからない。　　　　　　はどこにおいたのだろう。

**あれ**

**これ**

**の**

⑦　明日は畑にいきます。　　　　　で草かりをします。

**あれ**

**そこ**

**の**

⑧　山の向こうに家があります。　　　　　　　が私の家です。

**それ**

**これ**

**の**

　　　　　　　　年　　組　　　番　　名前

**教材３―（８）**　　言葉

一　＊＊＊の言葉が指している言葉に、＊＊＊を引きましょう。

　バスが来た。それは、駅前行きだった。

①　お茶しか売っていっていない。飲める物はそれだけだ。

②　パンフレットがあるから、買う物は、これを見てたのもう。

③　きのう、ペンを買った。あれはとても書きやすかった。

④　大山へ遠足に行った。そこの見晴らしは、すばらしかった。

⑤　水族館に行きました。それは駅の近くでした。

⑥　会場に白い服を着たおじいさんがいました。それが私のおじ

いさんです。

⑦　庭にチューリップの花がさきました。その花はきれいでした。